

TECHNOLOGY FARM TIMES

VOL.3

2019年6月12日、TECHNOLOGY FARM 西の里を会場に、「北海道スマート農業SUMMIT」が行われました。

このイベントは、サングリングループが事務局として参加するスマート農業共同体(SAc)とSAc会員のマイナビ農業が共催したものです。

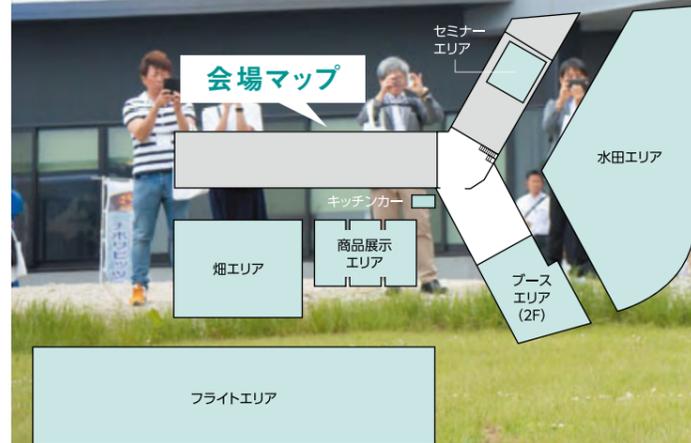
「スマート農業」をキーワードに、生産者とメーカー、多種多様な企業・団体が集うこのイベントは農業の未来を語り合うまたとない機会となりました。そのイベントをレポートします。



水田エリアでの実演の様子



フライトエリアでの実演の様子



■北海道スマート農業 SUMMIT 概要

【開催日・会場】 2019.6.12(水) テクノロジーファーム西の里

【主催】 スマート農業共同体(SAc)・株式会社マイナビ 農業活性事業部

【後援】 北海道・一般社団法人北海道農業機械工業会・北広島市・北広島市工業振興会・北広島市農業委員会・北海道農業法人協会



畑エリアでの実演の様子

◆来場者の声

JA豊頃 松本和明さま



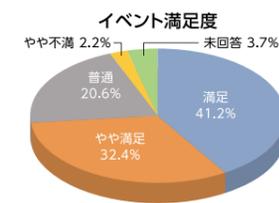
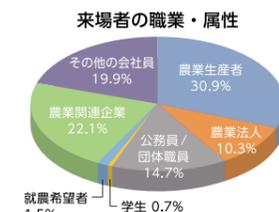
「無人ヘリコプターは既に防除で利用していますが、マルチローターの利用ニーズも高まっています。生産者が高い関心を持っているマルチローターについて、デモフライトを見ることができ、貴重な情報収拾となりました」

いただくことができました。水田エリアでは、当社によるヤマハ発動機製除草剤散布ボート「ウォーターライダー」の実演と見学者による操作体験が行われました。畑エリアでは、UGV(無人走行車)の実演が行われました。

今回の実演が行われました。実際に運用される実機を間近で見ることが出来る展示というのはめずらしく、いずれのエリアにも多くの見学者が訪れました。フライトエリアでは、KMT、アークステーション、サングリングループの3社が、30分ずつの実演を行いました。運用を見ていただくことで、資料だけでは伝わらない使用感を伝えることができ、利用イメージを持って

Report 1 スペシャル 実地体験 エリア

屋外に「フライトエリア」「水田エリア」「畑エリア」の3つの実機展示エリアが設置され、各エリアで3



イベント当日の来場者は1日で800名超。そのうちの4割以上は農業生産者で、そのほかに農業関連企業や公務員・団体職員などの参加もありました。会場では、無人航空機などの実機を展示するスペシャル実地体験、スマート農業共同体(SAc)のステアリングコミティメンバーによるパネルディスカッション、各企業のPR講演、セミナー、ブース展示などが行われました。



Report 4 ブースエリア

多種多様な業種の企業・団体が出展し、37ブースが設置されました。商品や技術のPRはもちろん、サンプリング、アンケート、商品の試食なども行われました。イベント開催直後から人が押し寄せ、各ブースで熱心な商談が行われました。

【出展企業一覧】

JA道央/サンホープ/とちか財団、北土開発/住友化学/住化農業資材(SCAグループ)/ベジタリア/シンジェンタジャパン/三井化学アグロ/メニコン/サンダングループ/JA北海道情報センター/カネカ/エンルート/日本農業/カネコ種苗/ANVIAN INTERNATIONAL/オカモト/ベル・データ/デュボン・プロダクション・アグリサイエンス、ダウ・アグロサイエンス日本/日新商事/ネクシス光洋/ケイズネットワーク/アグロ カネショウ/タキロンシーアイ/アークステーション/アキレス/三菱ケミカルアグリドリーム/ダイヤテックス/KMT/積水化学北海道、積水化学工業/ヤマハ発動機、国際航空/東日興産/JAバンク×日本農業経営大学校/ナラ工業/渡辺パイプ/サイバネテック

※ブースナンバー順、法人格略

◆出展者の声

シンジェンタ ジャパンさま

「目的を持って来場している、意欲の高い方が非常に多かったと感じています。生産者の皆さまから血の通った言葉を聞くことができ、スタッフの成長にもつながりました」

メニコンさま

「圃場で実地体験ができる展示会はめずらしいですね。自社が開発した製品を来場者の方々に見ていただき、直接話せるのは貴重な機会だと思います」

◆来場者の声

北竜町 大前慶則さま・慶太さま

「スマート農業についての新情報を求めて参加しました。新たな技術や機器を使用することで、本当に安定した農業経営が可能になるのか。しっかり見極めなくてはと感じました」



Report 5 商品展示 エリア

屋外に設けられた展示エリアには東日興産、ケービーエル、諸岡の3社が出展。肉厚ゴムクローラーが特徴のフォークリフト、170種以上のアタッチメントでさまざまなシーンに活躍するミニローダー、農耕用タイヤ、農業機械用バッテリーなどが展示されました。



イベントレポートはSAC・マイナビ農業のWebサイトでも公開されています

Report 2 パネル ディスカッション

スマート農業共同体(SAC)ステアリングコミッティ委員長を務める、当社代表取締役社長の北濱宏一がコーディネーターとなり、「スマート農業の進展と北海道農業に期待されること」をテーマにパネリストとディスカッションを行いました。

パネリストを務めたのは、ベジタリア株式会社代表取締役社長の小池聡氏、株式会社



パネリストディスカッションの様子

社マイナビ執行役員 農業活性事業部部長の池本博則氏、ヤマハ発動機株式会社 ソリューション事業本部・ロボティクス事業部・UMS統括部長の中村克氏、酪農学園大学教授 農学博士の園田高広氏の4名。それぞれ、スマート農業やSACへの期待などを述べました。スマート農業の普及にあたり留意すべきこと、また普及の過程においてSACが果たすべき役割など、今後の活動の指針となる意見が交わされました。



写真左から、ベジタリア株式会社 小池聡氏、北海道副知事 土屋俊亮氏、SACステアリングコミッティ委員長 北濱宏一、ヤマハ発動機株式会社 中村克氏、株式会社マイナビ 池本博則氏

Report 3 PR講演 セミナー

イベント開始直後から、6つのPR講演・セミナーを開催。いずれの回も、立ち見が出るほどの大入りとなりました。途中、北海道副知事の土屋俊亮氏の来場もあり、スマート農業への期待と関心の高さがうかがえました。



PR講演・セミナーの様子



風のがっこうさまの講演

【PR講演・セミナー一覧】

- ◆株式会社バク宙 (テーマ)これだけは知っておこう! 農業分野における外国人雇用の基礎知識
- ◆公益財団法人とちか財団 (テーマ)十勝から学ぶ! 省力化、効率化を実現するための技術
- ◆株式会社前川製作所 (テーマ)持続可能な農業に向けたエンドファイトの活用技術について
- ◆株式会社国際有機公社 (テーマ)エンターテインメント農業の可能性
- ◆株式会社風のがっこう (テーマ)省エネ&人材活性を実現! 『バグットマト』が導く農家の新時代
- ◆日本ニューホランド株式会社 (テーマ)海外で行う精密農業の流れと日本での実証

